様式Ａ－１０

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2025年4月28日

京都府知事　様

病院名　医療法人財団康生会　武田病院

開設者　医療法人財団康生会
理事長　武田　隆司

医師法第16条の２第１項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。

また、併せて、同省令第９条に基づき、 1.　研修プログラムの変更、 2.　研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「１．研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「２．研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

１．基幹型臨床研修病院　２．協力型臨床研修病院　（報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

・項目番号１から27までについては、年次報告において記入してください。

・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－１－

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会　武田病院

記入日：西暦　2025年4月28日

病院施設番号 （基幹型、協力型記入） 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。	030491	臨床研修病院群の名称 （基幹型、協力型記入） 既に臨床研修病院群番号を有している臨床研修病院群については、番号も記入してください。	名称	武田病院
			番号	0030491

作成責任者の氏名及び連絡先 （基幹型、協力型記入） 本報告書の問合せに対して回答できる作成責任者について記入してください。	ﾌﾘｶﾞﾅ	ﾌﾜ　ﾀﾂﾅﾘ	役職	総務部　総務課　課長
	氏名 （姓）	（名）		
	不破	達就		（　内線：　2178　）
				（　直通電話：　075-361-1355　）
			e-mail：	recruit-e@takedahp.or.jp fuwa@takedahp.or.jp

１．病院の名称 （基幹型、協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ	ｲﾘｮｳﾎｳｼﾞﾝｻﾞｲﾀﾞﾝｺｳｾｲｶｲ　ﾀｹﾀﾞﾋﾞｮｳｲﾝ
		医療法人財団康生会　武田病院
２．病院の所在地及び二次医療圏の名称 （基幹型・協力型記入）	〒	600-8558
		京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5
		電話：　075-361-1351　　ＦＡＸ：　075-361-7602
	二次医療圏の名称：	京都・乙訓　医療圏
３．病院の開設者の氏名（法人の名称） （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ	ｲﾘｮｳﾎｳｼﾞﾝｻﾞｲﾀﾞﾝｺｳｾｲｶｲ　ﾘｼﾞﾁｮｳ　ﾀｹﾀﾞ　ﾘｭｳｼﾞ
		医療法人財団康生会　理事長　武田　隆司
４．病院の開設者の住所（法人の主たる事務所の所在地） （基幹型・協力型記入）	〒	600-8558
		京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841-5
		電話：　075-361-1351　　ＦＡＸ：　075-361-7602
５．病院の管理者の氏名 （基幹型・協力型記入）	ﾌﾘｶﾞﾅ	ﾀｹﾀﾞ　ｼﾞｭﾝ
	姓	武田　　名　純

６．研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数 （基幹型記入）	＊　別紙１に記入 研修管理委員会の全ての構成員（協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。）について記入してください。
７．病院群の構成等 （基幹型記入）	＊　別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。
８．病院のホームページアドレス （基幹型・協力型記入）	https://www.takedahp.or.jp/koseikai/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－２－

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会　武田病院

		※	
９．医師（研修医を含む。）の員数 （基幹型・協力型記入）			常勤：69.37名、非常勤（常勤換算）：18.7名 計（常勤換算）：88.07名、医療法による医師の標準員数：24名 ＊　基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式Ａ－３に記入
10．救急医療の提供の実績 （基幹型・協力型記入）	救急病院認定の告示		告示年月日：2015年10月1日　、告示番号：第　840　号
	医療計画上の位置付け		1.　初期救急医療機関　[2.　第二次救急医療機関]　3.　第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無		1.　[有]　（　50.4　）㎡　　0.　無
	救急医療の実績		前年度の件数：8,682　件　（うち診療時間外：7,896　件） １日平均件数：24　件　（うち診療時間外：22　件） 救急車取扱件数：5,155　件　（うち診療時間外：4,369　件）
	診療時間外の勤務体制		医師：5　名、看護師及び准看護師：30　名
	指導を行う者の氏名等		＊　別紙４に記入
	救急医療を提供している診療科		内科系（[1.]有　0.　無　）　外科系（[1.]有　0.　無　）　小児科（ 1.　有　[0.]無　） その他（　　）
11．医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） （基幹型・協力型記入）			1.一般：384　床、2.精神：　　床、3.感染症：　　床 4.結核：　　床、5.療養：　　床
12．診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 （基幹型・協力型記入）			＊　別紙２に記入 年次報告の場合には、患者数は報告年度の前年度分、研修医の数は報告年度の前年度分の実績と当年度分の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度の前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。
13．病床の種別ごとの平均在院日数(小数第二位四捨五入) （基幹型・協力型記入）			1.一般：10.4　日、2.精神：　　日、3.感染症：　　日 4.結核：　　日、5.療養：　　日
14．前年度の分娩件数 （基幹型・協力型記入）			正常分娩件数：0　件、異常分娩件数：0　件
15．臨床病理検討会（ＣＰＣ）の実施状況 （基幹型・協力型記入）	開催回数		前年度実績：1　回、今年度見込：1　回　※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等		＊　別紙４に記入
	剖検数		前年度実績：0　件、今年度見込：2　件
	剖検を行う場所		当該医療機関の剖検室　1.　有 [0.]無　（　医療法人医仁会　医仁会武田総合病院　） 無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。
16．研修医のための宿舎及び研修医室の有無 （基幹型・協力型記入）	研修医の宿舎		[1.]有　（単身用：4　戸、世帯用：　　戸） 0.　無　（住宅手当：家賃の半額程度　　円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室		[1.]有　（　1　室　）　0.　無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
17．図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 （基幹型・協力型記入）	図書室の広さ		（　16　）㎡
	医学図書数		国内図書：142　冊、国外図書：21　冊
	医学雑誌数		国内雑誌：34　種類、国外雑誌：24　種類
	図書室の利用可能時間		0時　～　24時　　24時間表記
	文献データベース等の利用環境		Medline等の文献データベース（[1.]有　0.　無）、教育用コンテンツ（ 1.　有　0.　無）、 その他（医中誌WEB導入予定（2025年度））
			利用可能時間　（　0時　～　24時　）　24時間表記
	医学教育用機材の整備状況		医学教育用シミュレーター　（[1.]有　0.　無　）、 その他（　　）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－３－

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会　武田病院

18. 病歴管理体制 （基幹型・協力型記入）	病歴管理の責任者の氏名及び役職	ﾌﾘｶﾞﾅ　ｵﾊﾞﾀ　ﾖｼｱｷ 氏名（姓）小畑　（名）慶朗 役職　医事部　部長
	診療に関する諸記録の管理方法	1.　中央管理　　2.　各科管理 その他（具体的に：　　）
	診療録の保存期間	（　5　）年間保存
	診療録の保存方法	1.　文書　　2.　電子媒体 その他（具体的に：電子媒体に載らないものは紙媒体で保存）
19. 医療安全管理体制 （基幹型・協力型記入）	安全管理者の配置状況	1.　有　（　1　名）　　0.　無 有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。
	安全管理部門の設置状況	職員：専任　（　2　）名、兼任　（　1　名） 主な活動内容：　例）「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療安全に関する研修の実施。医療安全マニュアルの見直し、改訂。医療安全に関する広報の配信。インシデント・アクシデントの分析と報告 １）各所属のインシデントレポート・アクシデントレポート、医療事故の原因の分析並びに事故予防策の検討及び提言、指導に関すること ２）各所属への情報提供と再発防止策のための提言、指導に関すること ３）医療事故に関する諸記録の点検に関すること ４）リスクマネージャーの教育、育成に関すること ５）職員教育の企画、運営の分析、評価に関すること ６）医療安全及び医療事故防止のための啓発、広報に関すること ７）各所属間の意見交換に関すること
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等： ﾌﾘｶﾞﾅ　ｲｺﾏ　ｶｽﾞﾔ 氏名（姓）生駒　（名）和也 役職　患者サポートセンター　センター長/副院長 対応時間　（　9:00　～　16:00　）　24時間表記 患者相談窓口に係る規約の有無：　1.　有　　0.　無
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	1.　有　　0.　無 指針の主な内容： 趣旨及び目的、基本的な考え方、医療安全管理体制の構築、安全管理のための院内報告制度、医療安全対策のための指針・マニュアル等の整備、医療安全向上のための研修、医療安全対策実施の確認、医療事故発生時の具体的な対応
	医療に係る安全管理委員会の開催状況	年（　12　）回 活動の主な内容： 毎月のインシデント・アクシデントの分析、問題事象に対する対応を対策 １）医療事故、又は発生する恐れのあった業務についての情報収集、分析及び再発防止策に関すること ２）医療安全対策の具体的事項及び推進の検討に関すること ３）医療事故防止の為の研修、教育、広報及び出版に関すること ４）医療事故（訴訟）対策に関すること ５）その他、医療の安全に関する必要なこと
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年（　2　）回 研修の主な内容： 1回目　令和6年7月チーム医療における医療対話推進のスキル 2回目　令和6年11月「行動制限（身体抑制）」
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備：　1.　有　　0.　無 その他の改善のための方策の主な内容： インシデント報告書、医療安全業務改善計画を立て、報告
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 （基幹型・協力型記入）		修了：　2　名 中断：　0　名

21. 現に受け入れている研修医の数
（基幹型・協力型記入）

	前々年度	前年度	当該年度
1　年	2	2	2
2　年	2	2	2

22. 受入可能定員 （基幹型・協力型記入）	許可病床数（歯科の病床数を除く。）から算出	許可病床数　（　384　）床　÷　10　＝　（　38.4　）名
	患者数から算出	年間入院患者数　（　6,688　）人　÷　100　＝　（　66.88　）名
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 （基幹型・協力型記入） 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。		1. 精神保健福祉士：　0　名　（常勤：　0　名、非常勤：　0　名） 2. 作業療法士：　5　名　（常勤：　5　名、非常勤：　0　名） 3. 臨床心理技術者：　0　名　（常勤：　0　名、非常勤：　0　名） 9. その他の精神科技術職員：　0　名　（常勤：　0　名、非常勤：　0　名）
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 （基幹型記入） JCEPIによる評価受審の有無を記載してください。		1.　有　（　　）　0.　無 有を選択した場合には、直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表　　1.　有　　0.　無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会　武田病院

項目27までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 （基幹型記入）			＊　別紙５に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 （基幹型・協力型記入）			女性　１年次研修医（ 0 ）名　２年次研修医（ 1 ）名 男性　１年次研修医（ 0 ）名　２年次研修医（ 0 ）名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 （基幹型・協力型記入）	院内保育所		院内保育所の有無　（ 1. 有　0. 無 ） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（ 7:30 ～ 18:00 ） 病児保育　（ 1. 有　0. 無 ） 夜間保育　（ 1. 有　0. 無 ） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（ 1. 可　0. 不可 ）
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（ 1. 有　0. 無 ） その他の補助　（具体的に　　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所　（ 1. 有　0. 無 ） 授乳スペース　（ 1. 有　0. 無 ）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口		1. 有　0. 無 窓口の名称がある場合記入　（　　） 窓口の専任担当　1. 有（ 2 ）名　0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入　（総務部　　） 窓口の専任担当　1. 有（ 2 ）名　0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 （基幹型・協力型記入） プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称：医療法人財団康生会　武田病院初期臨床研修プログラム プログラム番号：030491303
29. 研修医の募集定員 （基幹型記入）			１年次：2 名　２年次：2 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 （基幹型記入）	研修プログラムに関する問い合わせ先		ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾌﾜ　ﾀﾂﾅﾘ 氏名（姓）不破　（名）達就 所属　総務課　役職　課長 電話：075-361-1355　ＦＡＸ：075-361-7602 e-mail：recruit-e@takedahp.or.jp URL：https://www.takedahp.or.jp/koseikai/kenshui/
	資料請求先		住所 〒 600-8558 京都市下京区塩小路通西洞院東入東塩小路町841番地の5 担当部門　担当者氏名 ﾌﾘｶﾞﾅ　ﾌﾜ　ﾀﾂﾅﾘ 姓 不破　名 達就 電話：075-361-1355　ＦＡＸ：075-361-7602 e-mail：recruit-e@takedahp.or.jp URL：https://www.takedahp.or.jp/koseikai/kenshui/

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会　武田病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） （基幹型記入）	募集方法		[1.] 公募 2. その他 （具体的に： ）
	応募必要書類 （複数選択可）		[1.] 履歴書、 [2.] 卒業（見込み）証明書、 [3.] 成績証明書、 [4.] 健康診断書、 [5.] その他 （具体的に：採用試験申込書 ）
	選考方法 （複数選択可）		[1.] 面接 [2.] 筆記試験　小論文 その他 （具体的に： ）
	募集及び選考の時期		募集時期：5月 頃から 選考時期：8月 頃から
	マッチング利用の有無		[1.] 有　0. 無
31. 研修プログラムの名称及び概要 （基幹型記入）			概要：＊ 別紙３に記入 （作成年月日：2024年4月1日 ）
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） （基幹型記入） ＊ プログラム責任者の履歴を様式Ａ－２に記入 ＊ 副プログラム責任者が配置されている場合にあっては、副プログラム責任者の履歴を様式Ａ－２に記入			（プログラム責任者） ﾌﾘｶﾞﾅ ﾅｶﾞﾀ ｶｽﾞﾋﾛ 氏名（姓）永田 （名）一洋 所属 医局　呼吸器内科・臨床研修部 役職 部長 （副プログラム責任者） [1.] 有 （ 2 名） 0. 無
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 （基幹型記入） 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。			＊ 別紙４に記入
34. インターネットを用いた評価システム			[1.] 有 （ ・ [EPOC] ・ その他 （ ）） 0. 無
35. 研修開始時期 （基幹型、地域密着型記入）			2026年4月1日
36. 研修医の処遇 （基幹型・協力型記入）	処遇の適用 （基幹型臨床研修病院は、２に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）		1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 １を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 [2.] 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別		[1.] 常勤　2. 非常勤
	研修手当		一年次の支給額（税込み） 基本手当／月 （ 340,000 円 ） 賞与／年 （ 円 ） 二年次の支給額（税込み） 基本手当／月 （ 360,000 円 ） 賞与／年 （ 円 ）
	勤務時間		基本的な勤務時間 （ 8:30 ～ 17:00 ） 24時間表記 休憩時間 （ 60分 ） 時間外勤務の有無：[1.] 有　0. 無
	休暇		有給休暇 （１年次： 日、 ２年次： 日 ） 夏季休暇 （[1.] 有　0. 無 ） 年末年始 （[1.] 有　0. 無 ） その他休暇 （具体的に： ）
	当直		回数 （ 約 4 回／月 ）
	研修医の宿舎（再掲）		1. 有 （単身用： 4 戸、世帯用： 0 戸 ） 0. 無 （住宅手当： 家賃半額程度 円 ） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「０」と記入してください。
	研修医室（再掲）		[1.] 有 （ 1 室 ） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険		公的医療保険 （ ） 公的年金保険 （ ） 労働者災害補償保険法の適用 （[1.] 有　0. 無 ） 国家・地方公務員災害補償法の適用 （ 1. 有　[0.] 無 ） 雇用保険 （[1.] 有　0. 無 ）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－６－

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会　武田病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇(続き) (基幹型・協力型記入)	健康管理		健康診断　（ 年　2　回 ） その他　（具体的に：　　）
	医師賠償責任保険の扱い		病院において加入　（ [1.] する　0. しない ） 個人加入　（ 1. 強制　0. 任意 ）
	外部の研修活動		学会、研究会等への参加：　（ [1.] 有　0. 無 ） 学会、研究会等への参加費用支給の有無：　（ [1.] 有　0. 無 ）
	院内保育所(再掲)		院内保育所の有無　（ [1.] 有　0. 無 ） 有を選択した場合、開所時間を記入してください　（ 0時　～　24時 ） 病児保育　（ 1. 有　[0.] 無 ） 夜間保育　（ [1.] 有　0. 無 ） 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か　（ [1.] 可　0. 不可 ）
	保育補助(再掲)		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助　（ 1. 有　[0.] 無 ） その他の補助　（具体的に　　）
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所(再掲)		休憩場所　（ [1.] 有　0. 無 ） 授乳スペース　（ 1. 有　[0.] 無 ）
	その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）(再掲)		（　　）
	研修医のライフイベントの相談窓口(再掲)		[1.] 有　0. 無 窓口の名称がある場合記入　（　　） 窓口の専任担当　[1.] 有（ 2 ）名　0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口(再掲)		窓口の名称を記入　（総務部　　） 窓口の専任担当　[1.] 有（ 2 ）名　0. 無
37. 研修医手帳(基幹型記入)			1. 有　[0.] 無
38. 連携状況(基幹型記入)			＊　様式Ａ－６に記入

※欄は、記入しないこと。

７．病院群の構成等

様式Ａ－１０　別表

基幹型又は地域密着型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：　　（京都府）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院					臨床研修協力施設					研修プログラム	
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
京都府	京都乙訓	医療法人財団康生会 武田病院 (病院施設番号：030491)		京都府	京都・乙訓		医療法人医仁会 武田総合病院 (病院施設番号:030473)		京都府	京都・乙訓		医療法人財団康生会 柳馬場武田クリニック (病院施設番号:056115)		医療法人財団康生会 武田病院初期臨床研 プログラム 1年次：定員2名 2年次：定員2名	2
				京都府	京都・乙訓		医療法人（財団）桜花会 醍醐病院 (病院施設番号:030492)		京都府	京都・乙訓		医療法人財団宮津康生会 宮津武田病院 (病院施設番号:056921)			
				京都府	京都・乙訓		医療法人社団恵心会 京都武田病院 (病院施設番号:080019)		京都府	京都・乙訓		医療法人財団康生会 康生会クリニック (病院施設番号:147704)			
				京都府	京都・乙訓		宇治武田病院 (病院施設番号:086224)					(病院施設番号：　　)			
				京都府	京都・乙訓		医療法人財団康生会 北山武田病院 (病院施設番号:147703)					(病院施設番号：　　)			
							(病院施設番号：　　)					(病院施設番号：　　)			
							(病院施設番号：　　)					(病院施設番号：　　)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

へき地医療および武田病院内で研修できない科目を補う為、武田病院グループ内の病院を選定しました。

※　該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成するすべての基幹型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか、以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。

※　当該病院群に係るすべての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生分等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6.研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数（令和6年度開催回数2回）

病院施設番号：　030194　臨床研修病院の名称：　医療法人財団康生会　武田病院

氏　名	所　属	役　職	備　考
武田　純	医療法人財団康生会 武田病院	院長	研修管理委員長　研修実施責任者 臨床研修指導医
永田　一洋	医療法人財団康生会 武田病院	部長 臨床研修部長	プログラム責任者 臨床研修指導医
八木　秀雄	医療法人財団康生会 武田病院	院長代理	副プログラム責任者 臨床研修指導医
土井　哲也	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	副プログラム責任者 臨床研修指導医
武田　隆司	医療法人財団康生会 武田病院	理事長	研修管理委員
武田　道子	医療法人財団康生会 武田病院	名誉院長	研修管理委員
朴　昌禧	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	臨床研修指導医
大塚　悟朗	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	臨床研修指導医
滝　和郎	医療法人財団康生会 武田病院	脳卒中センター長	臨床研修指導医
一山　智	医療法人医仁会 武田総合病院	院長	研修実施責任者
的場　祥人	医療法人（財団）桜花会 醍醐病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
武田　敏也	医療法人社団恵心会 京都武田病院	理事長・院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
金　郁喆	宇治武田病院	院長	研修実施責任者
青山　英久	医療法人財団康生会 北山武田病院	院長	研修実施責任者
浅沼　光太郎	医療法人財団康生会 柳馬場武田クリニック	所長	研修実施責任者
曽根　淳史	医療法人財団宮津康生会 宮津武田病院	院長	研修実施責任者 臨床研修指導医
武田　貞子	医療法人財団康生会 康生会クリニック	所長	研修実施責任者
小泉　俊三	せんぼん診療所	所長	外部委員
平住　仰山	東福寺	塔頭　善慧院　住職	外部委員
渡辺　司	医療法人財団康生会 武田病院	事務長	研修管理委員
辻本　かよ子	医療法人財団康生会 武田病院	看護部長	研修管理委員
松原　紀宏	医療法人財団康生会 武田病院	総務部　総務部長	研修管理委員
不破　達就	医療法人財団康生会 武田病院	総務部　総務課長	研修管理委員 事務局

※　１ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。
「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。
欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

12.診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令　和　6　年　度　分　）

臨床研修病院の名称	医療法人財団康生会　武田病院
病院施設番号	030491

区分	内科	救急部門	外科	麻酔科（部門）	小児科	産婦人科	産科又は	婦人科又は	精神科	病院で定めた必修科目の診療科 泌尿器科	心臓血管外科	脳神経外科	整形外科	その他の研修を行う診療科 眼科	放射線科	血液透析科	その他	合計
年間入院患者実数 （）内は救急件数又は分娩件数	3,554	(8,682)	311			(0)	(0)			259	323	595	1,135	238	7	67		6,489
年間新外来患者数																		0
１日平均外来患者数 （）内は年間外来診療日数	235.5 (296)	(0)	48.3 (296)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	22.1 (296)	15.2 (156)	14.8 (296)	94.8 (296)	29.4 (248)	16.4 (296)	15.9 (296)	(0)	
平均在院日数																		
常勤医師数 （うち臨床研修指導医（指導医）数）	27.0 (17)	1.0 (0)	4.0 (3)	2.0 (1)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	0.0 (0)	3.0 (1)	2.0 (2)	4.0 (2)	8.0 (3)	2.0 (1)	5.0 (1)	1.0 (1)	1.0 (1)	60.0 (33)

※　「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「１日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。**「救急件数」及び「分娩件数」とは、１０．の救急医療の実績の前年度の件数及び１４．の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。**

※　「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令　和　6　年　度　分　）		臨床研修病院病院の名称					医療法人財団康生会　武田病院							
		病院施設番号					030491							
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
武田病院	内　科	2	2	2	2	3	2	2	2	1	2	2	1	2
武田病院	救急部門		1			1		1	1	1	1			2
武田病院(外科系選択含む)	外　科	1						1				1	3	
武田病院	麻酔科									1		1		
研修医数（合計）	内　科	2	2	2	2	3	2	2	2	1	2	2	1	2
	救急部門	0	1	0	0	1	0	1	1	1	1	0	0	2
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外　科	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	0
	麻酔科	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※　「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令　和　7　年　度　分　）		臨床研修病院病院の名称					医療法人財団康生会　武田病院							
		病院施設番号					030491							
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
武田病院	内　科	3	2	2	2	2	1	1		1	1	1		
武田病院	救急部門		1		1	1		1	1	1	1			
武田病院(外科系選択含む)	外　科					1	2	2	1	2		3	4	4
武田病院	麻酔科						1		1					
研修医数（合計）	内　科	3	2	2	2	2	1	1	0	1	1	1	0	0
	救急部門	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外　科	0	0	0	0	1	2	2	1	2	0	3	4	4
	麻酔科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※　「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令　和　8　年　度　分　）		臨床研修病院病院の名称					医療法人財団康生会　武田病院							
		病院施設番号					030491							
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
武田病院	内　科	3	2	2	2	2	1	1		1	1	1		
武田病院	救急部門		1		1	1		1	1	1	1			
武田病院(外科系選択含む)	外　科					1	2	2	1	2		3	4	4
武田病院	麻酔科						1		1					
研修医数（合計）	内　科	3	2	2	2	2	1	1	0	1	1	1	0	0
	救急部門	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外　科	0	0	0	0	1	2	2	1	2	0	3	4	4
	麻酔科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※　「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12.診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

（　令　和　9　年　度　分　）		臨床研修病院病院の名称					医療法人財団康生会　武田病院							
		病院施設番号					030491							
基幹型臨床研修病院名	担当分野	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
武田病院	内　科	3	2	2	2	2	1	1		1	1	1		
武田病院	救急部門		1		1	1		1	1	1	1			
武田病院(外科系選択含む)	外　科					1	2	2	1	2		3	4	4
武田病院	麻酔科						1		1					
研修医数（合計）	内　科	3	2	2	2	2	1	1	0	1	1	1	0	0
	救急部門	0	1	0	1	1	0	1	1	1	1	0	0	0
	地域医療	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外　科	0	0	0	0	1	2	2	1	2	0	3	4	4
	麻酔科	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
	小児科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般外来	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

※　年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※　当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

※　「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。

※　基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各４週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間４週について１人とすること）を記入すること。
また、複数の基幹型病院の研修医を受け入れる担当分野がある場合には、その担当分野ごとの合計を記入すること。

※　「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

29.研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：030491303

病院施設番号：030491　　臨床研修病院の名称：医療法人財団康生会 武田病院

臨床研修病院群番号：　　臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1.研修プログラムの名称	医療法人財団康生会 武田病院 初期臨床研修プログラム
2.研修プログラムの特色	スーパーローテート方式の臨床研修を基本とし、2年間の初期研修プログラムを基に研修を行う。本プログラムの特徴は、プライマリ・ケアから専門医、研究医になる素養を身につけると共に、救急医療、地域医療、介護にも接し、専門にとらわれず一般医療を広く扱い、いつ、いかなる状況においても基本的医療行為、医療活動を全人的に行い得る医師としての医学的な基礎をつくることとしている。
3.臨床研修の目標の概要	将来の専攻科に関わらず、プライマリ・ケアに必要な基本的診療能力（態度、技能、知識）を身につけることを目的とする。医療の社会的ニーズを認識しつつ、地域に密着した救急医療の経験を積み、科学的根拠に基づいた医療の実践を通し、患者さんとの良好なコミュニケーション能力を培いつつ、自ら考え診断、治療できる臨床的技能および全人的な幅の広い診療能力を身につける。
4.研修期間	（ 2 ）年 （原則として、「2年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。

5.臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）
＊ 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。
＊ 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。
＊ 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
（記入例） ××科		1234567	○○病院	○週	○週
必修科目・分野	内科	30491	医療法人財団康生会 武田病院	58週	4週
	内科	80019	医療法人社団恵心会 京都武田病院	1週	週
	救急部門	30491	医療法人財団康生会 武田病院	12週	
	地域医療	56115	医療法人財団康生会 柳馬場武田クリニック	1週	一般外来 0.8週 在宅診療 0.2週
	地域医療	56921	医療法人財団宮津康生会 宮津武田病院	4週	一般外来 4週 在宅診療 週
	外科	30491	医療法人財団康生会 武田病院	4週	週
	小児科	30473	医療法人医仁会武田総合病院	4週	週
	産婦人科	30473	医療法人医仁会武田総合病院	8週	
	精神科	30492	医療法人財団桜花会醍醐病院	8週	
	一般外来（単独実施のみ）			週	
病院で定めた必修科目	外科系診療科	30491	医療法人財団康生会 武田病院	10週	週
	麻酔科	30491	医療法人財団康生会 武田病院	4週	週
				週	週
選択科目	選択科	30491	医療法人財団康生会 武田病院	64週	週
	選択科	30473	医療法人医仁会武田総合病院	※上記32週に含む	週
	選択科	30492	医療法人財団桜花会醍醐病院	※上記32週に含む	週
	選択科	86224	宇治武田病院	※上記32週に含む	週
	選択科	147703	北山武田病院	※上記32週に含む	週
				週	週

備考：
1.基幹型研修病院での研修期間：最低54週(内科29週＋救急部門8週＋外科4週＋麻酔科4週＋外科系診療5週＋京都武田病院1週＋オリエンテーション1周＝52週)
2.臨床研修施設での研修期間：最大5週
★一般外来は、総合内科等にて実施。
★選択科は、当院または協力型臨床研修病院、臨床研修協力施設で研修可能な診療科すべてとなっており、内科系、外科系、救急科、麻酔科、放射線科、検査科、その他研修可能な診療科で研修ができる。
★必須外科系診療科について、泌尿器科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、
既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号：	030491	臨床研修病院の名称：	医療法人財団康生会 武田病院
臨床研修病院群番号：		臨床研修病院群名：	

6.研修スケジュール(一年次)

プログラム番号： 030491303

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1

(No.1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊2	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科			3	3	3	3																																											
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科									3	3	3	3																																						
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	内科		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1				1	1	1	1	1	1	1	1								
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	救急部門																							1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1													
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	外科																																									1	1	1	1		1	1	1	1			
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	麻酔科																															1	1	1	1				1	1	1	1									
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	外科系 選択																																								1	1	1	1	2	1	1	1	1			
医療法人社団恵心会京都武田病院 (080019)	内科																																																		
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	オリエンテーション	1																																																	

＊1：臨床研修病院群における臨床研修で、1つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法(たすきがけ方式等)を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを1枚にまとめたものを添付すること。

＊2：「研修分野」欄には、「5. 臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊3：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、
既に取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 030491	臨床研修病院の名称： 医療法人財団康生会 武田病院
臨床研修病院群番号：	臨床研修病院群名：

6.研修スケジュール(二年次)

プログラム番号： 030491303

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊1

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野 ＊2	1～4週				5～8週				9～12週				13～16週				17～20週				21～24週				25～28週				29～32週				33～36週				37～40週				41～44週				45～48週				49～52週			
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科			3	3	3	3																																											
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科									3	3	3	3																																						
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	内科																	1	1	1	1								1			1	1	1	1	1	1			1	1		1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	救急部門					1	1	1	1									1	1	1	1																																
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	外科系 選択																									1	1	1	1																						
医療法人財団康生会武田病院 (030491)	選択科	1	1	1	1																	1	1	1	1	1	1							1	1	1	1	1											
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	小児科									1	1	1	1	1	1	1	1																																
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	産婦人科													1	1	1	1																					1	1	1	1	1									
医療法人医仁会武田総合病院 (030473)	選択科							1	1	1	1	1	1																																						
宇治武田病院	選択科																																													1	1						
																																													1	1	1	1				
医療法人財団桜花会醍醐病院 (030492)	精神科	1	1	1	1																								1	1	1	1																				
医療法人財団桜花会醍醐病院	選択科																																																		

| | | |

病院施設番号：　030491　臨床研修病院の名称：　医療法人財団康生会　武田病院

	担当分野①	担当分野②（兼任及びその他の診療科）	専門分野	選択科目の有無	氏名	所属	役職	臨床経験年数	勤務形態（常勤or非常勤）	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	受講した指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
1	内科	内科	糖尿病・内分泌科		武田　純	医療法人財団康生会 武田病院	院長	44	常勤	○	日本糖尿病学会専門医・研修指導医、平成20年度岐阜大学臨床研修指導医講習会、平成18年度第2回「医師臨床研修制度・研修管理委員会・委員長研修（特定研修）」修了	3.4
2	内科	内科	糖尿病・内分泌科		葛谷　英嗣	医療法人財団康生会 武田病院	顧問	57	常勤	○	日本糖尿病学会専門医・研修指導医、平成8年度国立京都病院臨床研修指導医ワークショップ	4
3	内科	内科	糖尿病・内分泌科		谷川　隆久	医療法人財団康生会 武田病院	部長	28	常勤	○	日本糖尿病学会専門医・研修指導医、平成28年度第24回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医のためのワークショップ	4
4	内科	内科	糖尿病・内分泌科		伊藤　直子	医療法人財団康生会 武田病院	医長	21	常勤	○	滋北病院臨床研修指導医養成講習 日本内科学会認定内科医、総合内科専門医、日本糖尿病学会専門医、研修指導医、内分泌代謝科（内科）専門医、指導医	4
5	内科	内科	内科		土井　哲也	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	37	常勤	○	日本医師会「第14回指導医のための教育ワークショップ」	4
5	内科	内科	内科		池田　恭治	医療法人財団康生会 武田病院	部長	43	常勤	○	日本医師会「第14回指導医のための教育ワークショップ」	4
6	内科	内科	血液透析		川上　享弘	医療法人財団康生会 武田病院	センター長	32	常勤	○	第30回京都大学医学部付属病院　臨床研修指導医のワークショップ	4
7	内科 救急部門	内科 救急部門	循環器内科		木下　法之	医療法人財団康生会 武田病院	部長	32	常勤	○	日本循環器学会専門医、日本医師会「第3回指導医のための教育ワークショップ」、平成19年度プログラム責任者養成講習会修了	4
8	内科 救急部門	内科 救急部門	循環器内科		澤西　高佳	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	28	常勤	○	日本循環器学会専門医、日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」	4
9	内科 救急部門	内科 救急部門	不整脈科		垣田　謙	医療法人財団康生会 武田病院	センター長	20	常勤	○	日本不整脈心電学会専門医、日本循環器学会専門医、第8回大阪医科大学附属病院臨床研修指導医養成講習会	4
10	内科 救急部門	内科 救急部門	不整脈科		服部　哲久	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	20	常勤	○	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本循環器学会循環器専門医、日本医師会認定産業医、第8階滋賀医科大学医師臨床研修指導医講習会	4
11	内科 救急部門	内科 救急部門	不整脈科		朴　美仙	医療法人財団康生会 武田病院	医長	15	常勤	○	平成29年度島根県臨床研修指導医講習会 日本内科学会認定内科医、日本心エコー図認証医、日本循環器学会専門医、日本胸部外科学会認定医、心臓血管外科専門医	4
13	内科 救急部門	内科 救急部門	消化器内科		松山　竜三	医療法人財団康生会 武田病院	部長	21	常勤	○	日本医師会　第18回指導医のための教育ワークショップ	4
14	内科 救急部門	内科 救急部門	消化器内科		竹谷　祐栄	医療法人財団康生会 武田病院	医長	14	常勤	○	日本医師会　第15回指導医のための教育ワークショップ	4

病院施設番号：　030491　臨床研修病院の名称：　医療法人財団康生会　武田病院

	担当分野①	担当分野②（兼任及びその他の診療科）	専門分野	選択科目の有無	氏名	所属	役職	臨床経験年数	勤務形態（常勤or非常勤）	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	受講した指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
16	内科 救急部門	内科 救急部門	脳神経内科		八木　秀雄	医療法人財団康生会 武田病院	院長代理	37	常勤	○	日本神経学会専門医・指導医、平成19年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	2.4
17	内科 救急部門	内科 救急部門	脳神経内科		渡邉　裕子	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	25	常勤	○	日本医師会　第17回指導医のための教育ワークショップ	4
18	内科 救急部門	内科 救急部門	呼吸器内科		永田　一洋	医療法人財団康生会 武田病院	部長 臨床研修部長	30	常勤	○	日本呼吸器学会専門医・指導医、平成20年度武田総合病院臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ、平成28年度プログラム責任者養成講習会修了	1.4
19	内科 救急部門	内科 救急部門	呼吸器内科		桒原　宏臣	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	28	常勤	○	日本医師会 第17回指導医のための教育ワークショップ	4
20	外科 救急部門	外科 救急部門	外科		猪飼　伊和夫	医療法人財団康生会 武田病院	部長	43	常勤	○	日本外科学会認定医、専門医、指導医、日本消化器外科学会専門医、指導医、消化器がん外科治療認定医、日本がん治療認定医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医、平成18年度第一回京都大学医学部附属病院臨床研修指導医講習会	4
22	外科 救急部門	外科 救急部門	外科		大江　正士郎	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	32	常勤	○	日本外科学会専門医・指導医、第4回滋賀医科大学医師臨床研修指導医講習会	4
23	外科 救急部門	外科 救急部門	外科		堀口　雅史	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	26	常勤	○	日本外科学会認定医、日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」（大阪府医師会主催）	4
23	選択科 救急部門	選択科 救急部門	整形外科	○	生駒　和也	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	28	常勤	○	平成２３年度第５回京都府立医科附属病院 指導医講習会	4
24	選択科 救急部門	選択科 救急部門	整形外科	○	大塚　悟朗	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	39	常勤	○	日本整形外科学会専門医、平成21年度第3回京都府立医科大学附属病院指導医講習会	4
25	選択科 救急部門	選択科 救急部門	整形外科	○	小見山　洋人	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	28	常勤	○	日本整形外科学会専門医、日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」	4
26	選択科 救急部門	選択科 救急部門	脳神経外科	○	滝　和郎	医療法人財団康生会 武田病院	センター長	50	常勤	○	日本脳神経外科学会専門医・指導医、日本医師会「第13回指導医のための教育ワークショップ」	4
27	選択科 救急部門	選択科 救急部門	脳神経外科	○	定政　信猛	医療法人財団康生会 武田病院	部長	28	常勤	○	日本脳神経外科学会専門医、平成18年度第2回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	4
28	選択科 救急部門	選択科 救急部門	心臓血管外科	○	朴　昌禧	医療法人財団康生会 武田病院	副院長	40	常勤	○	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構専門医・修練指導医、日本医師会「第2回指導医のための教育ワークショップ」	4
29	選択科 救急部門	選択科 救急部門	心臓血管外科	○	河野　智	医療法人財団康生会 武田病院	副部長	37	常勤	○	三学会構成心臓血管外科専門医認定機構専門医・修練指導医、第73回新臨床研修指導医養成講習会	4
30	選択科 救急部門	選択科 救急部門	泌尿器科	○	河瀬　紀夫	医療法人財団康生会 武田病院	部長	33	常勤	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、平成22年度第1回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	4

病院施設番号：　030491　臨床研修病院の名称：　医療法人財団康生会　武田病院

	担当分野①	担当分野②（兼任及びその他の診療科）	専門分野	選択科目の有無	氏名	所属	役職	臨床経験年数	勤務形態（常勤or非常勤）	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	受講した指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
31	選択科	選択科	放射線科	○	金﨑　周造	医療法人財団康生会武田病院	部長	33	常勤	○	日本医学放射線学会専門医・研修指導医、平成25年度日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」	4
32	麻酔科	麻酔科	麻酔科	○	原　直樹	医療法人財団康生会武田病院	部長	33	常勤	○	日本麻酔科学会専門医・指導医、日本医師会「第5回指導医のための教育ワークショップ」	4
33	選択科	選択科	眼科	○	牧山　由希子	医療法人財団康生会武田病院	部長	26	常勤	○	日本眼科学会専門医、日本医師会「第15回指導医のための教育ワークショップ」	4
34	病理(CPC)	病理	病理診断科	○	浦﨑　晃司	医療法人財団康生会武田病院	部長	34	常勤	○	日本臨床細胞学会細胞診指導医、日本病理学会認定病理医、日本臨床検査医学会 臨床検査管理医、日本病院会 臨床研修指導医養成講習会　2010/6/13開催分	4
35	選択科	内科	感染症内科		一山　智	医仁会武田総合病院	院長	44	常勤	×	日本感染症学会専門医、日本臨床検査医学会専門医、日本環境感染学会ＩＣＤ	3
36	小児科 救急部門	小児科 救急部門	小児科		岸田　憲二	医仁会武田総合病院	部長	43	常勤	○	日本小児科学会専門医、日本医師会「第1回指導医のための教育ワークショップ」	4
37	小児科 救急部門	小児科 救急部門	小児科		神谷　一郎	医仁会武田総合病院	部長代理	33	常勤	○	日本小児科学会専門医、平成20年度武田総合病院臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
38	小児科 救急部門	小児科 救急部門	小児科		堤　貴子	医仁会武田総合病院	医長	18	常勤	○	日本小児科学会専門医、平成28年度武田総合病院臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
39	産婦人科 救急部門	産婦人科 救急部門	産婦人科		伴　千秋	医仁会武田総合病院	部長	52	常勤	○	日本産婦人科学会専門医・指導医、第18回京都大学医学部附属病院医師臨床研修指導医講習会	4
40	産婦人科 救急部門	産婦人科 救急部門	産婦人科		鞠　綿	医仁会武田総合病院	医長	18	常勤	○	日本産婦人科学会専門医、平成28年度武田総合病院臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
41	選択科	選択科	皮膚科		松井　美萌	医仁会武田総合病院	部長	31	常勤	○	日本皮膚科学会専門医・指導医、平成20年度武田総合病院臨床研修指導医養成のための教育ワークショップ	4
42	病理(CPC)	病理	病理		岡本　英一	医仁会武田総合病院	部長	54	常勤	○	日本病理学会専門医（研修指導医）、日本医師会「第7回指導医のための教育ワークショップ」	4
43	精神科	精神科	精神科		有馬　成紀	桜花会 醍醐病院	名誉院長	49	常勤	○	日本精神神経学会専門医・指導医、平成16年度近畿地区精神科七者懇臨床研修指導医講習会	4
44	精神科	精神科	精神科		的場　祥人	桜花会 醍醐病院	院長	36	常勤	○	日本精神神経学会専門医・指導医、平成15年度第1回臨床研修指導医養成研修　精神科	3.4
45	精神科	精神科	精神科		中谷　真也	桜花会 醍醐病院	副院長	23	常勤	○	日本精神神経学会専門医・指導医、平成22年度第一回西日本地区精神科七者懇臨床研修指導医講習会	4

33.臨床研修指導医（指導医）等氏名等名簿

様式Ａ－１０　別紙４

病院施設番号：　030491　臨床研修病院の名称：　医療法人財団康生会　武田病院

	担当分野①	担当分野②（兼任及びその他の診療科）	専門分野	選択科目の有無	氏名	所属	役職	臨床経験年数	勤務形態（常勤or非常勤）	指導医講習会等の受講経験 有：○ 無：×	受講した指導医講習会等名	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医（指導医）
46	内科	内科	内科		武田　敏也	恵心会 京都武田病院	理事長 院長	35	常勤	○	日本透析医学会専門医・指導医、平成21年度日本医師会「指導医のための教育ワークショップ」	3.4
47	形成外科	形成外科	形成外科		角谷　聡	宇治武田病院	医長	16	常勤	○	日本病院会　2022年度第１回臨床研修指導医講習会	3.4
48	内科	内科	内科		青山　英久	康生会 北山武田病院	院長	51	常勤	×	-	3
49	地域医療	地域医療	地域医療		浅沼　光太郎	康生会 柳馬場武田クリニック	所長	31	常勤	×	日本神経学会専門医・指導医	3
50	地域医療	地域医療	地域医療		曽根　淳史	宮津康生会 宮津武田病院	院長	43	常勤	○	日本泌尿器科学会専門医・指導医、平成22年度臨床研修指導医講習会（日本病院会）	3.4
51	地域医療	地域医療	地域医療		武田　貞子	康生会 クリニック	所長	35	常勤	×	日本人間ドック学会健診専門医・指導医	3

※　「担当分野①」欄には、内科、救急部門、外科、麻酔科、小児科、産婦人科（産科・婦人科選択可）、精神科、地域医療、病理（ＣＰＣ）及びその他を記入すること。
※　「担当分野②」には兼任している診療科、病院で定めた必修科目の診療科及びその他研修を行う診療科を記入すること。
※　「専門分野」には呼吸器内科、消化器内科、呼吸器外科、消化器外科等を記入すること。記入した「専門分野」が選択科目の場合「選択科目の有無」に○を記入すること。
※　「所属」欄には、臨床研修指導医（指導医）等が所属する病院又は施設の名称を記入すること。
※　プログラム責任者、副プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にそれぞれに応じた番号を記入すること。
＊研修実施責任者・・・協力型臨床研修病院又は臨床研修協力施設において、当該施設における臨床研修の実施を管理する者
＊臨床研修指導医（指導医）・・・研修医に対する指導を行う医師であり、７年（８４月）以上の臨床経験及び指導医養成講習会等の受講経験を有する者
なお、基礎研究医プログラムの指導医には、「基礎研究歴７年以上」もしくは「７年未満」いずれかを「臨床経験年数」欄に明記すること。
※　地域医療重点プログラムにおいては、地域医療の指導医を必ず記載すること。
※　欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

25.臨床研修病院群の時間外・休日労働最大想定時間数の記載（基幹型記入）　　様式Ａ－１０別紙5

基幹型臨床研修病院の名称（所在都道府県）：　武田病院　（京都府）

研修プログラムの名称：　医療法人財団康生会　武田病院　初期臨床研修プログラム

病院名	病院施設番号	種別	所在都道府県	時間外・休日労働（年単位換算）最大想定時間数	おおよその当直・日直回数 ※宿日直許可が取れている場合はその旨を記載	参考 時間外・休日労働（年単位換算）前年度実績	C-1水準適用
武田病院	030491	基幹型	京都府	960時間	3-4回/月　宿日直許可有り	**平均51.5時間** 対象となる臨床研修医4名（2024年度）	申請予定

※　年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入すこと。
　　研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度（プログラム開始年度）の想定を記入すること。

※　該当する項目について、基幹型臨床研修病院を筆頭にして、研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院について、施設番号順に詰めて記入すること。

※　病院群を構成する基幹型臨床研修病院及び研修医と雇用契約を締結する協力型臨床研修病院の病院施設番号、病院種別（基幹型・協力型）、所在都道府県、時間外・休日労働（年単位換算）の最大想定時間数、おおよその当直・日直回数（宿日直許可が取れている場合はその旨）、前年度の時間外休日労働の年単位換算実績及び、C-1水準適用の状況を記入すること。

※　最大想定時間数は、プログラムに従事する臨床研修医が、該当する研修病院において実際に従事することが見込まれる時間数について、前年度実績も踏まえ、実態と乖離することのないよう、適切に記入すること。

※　臨床研修医においては、従事する全ての業務が研修プログラムに基づくものとなるため、A水準又はC-1水準しか適用されないことに留意すること。

※　欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。

研修医名簿

病院施設番号：　030491　臨床研修病院の名称：　医療法人財団康生会　武田病院　記入日：　西暦　2025 年　4 月　28 日

番号	氏名	生年月日	医籍番号	医籍登録年月日	研修開始年月日	研修プログラム番号	備考
1	今泉　和佳	1999年7月21日	606454	2024年3月25日	2024年4月1日	030491303	
2	笹川　舞	1997年7月13日	610378	2024年4月1日	2024年4月1日	030491303	
3	小林　空暉	2001年1月6日	614933	2025年3月24日	2025年4月1日	030491303	
4	端　真由子	1999年1月5日	613461	2025年3月21日	2025年4月1日	030491303	
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							

※　自院研修プログラムで採用した研修医のみを記入すること。（採用予定を含む。）について研修開始年月日順に記入すること。（歯科医師は記入しない）

「研修開始年月日」欄には、当該研修医が最初に（中断がある場合は中断前に）研修を開始した年月日を記入すること。

「研修プログラム番号」欄には、当該研修医が研修を行っている研修プログラムの番号を記入すること。

「備考」欄には、当該研修医が過去に中断している場合に当該病院で研修を開始した年月日を記入すること。

欄が足りない場合には、セルの挿入により対応すること。